

平成23年度第2回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成23年10月17日（月） 14時00分～15時45分
場 所	戸畑共立病院 （3階 セミナールーム）
出席者 50名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター（院長） 戸畑共立病院（院長） 九州がんセンター（藤）	<p>1) 開会の挨拶 ただ今より平成23年度第2回福岡県がん診療連携協議会を開催いたします。今回は会場を戸畑共立病院にお願いしました。ありがとうございました。それでは、議事次第にそって進めていきたいと思ひます。</p> <p>2) 開催病院長 挨拶 本日は戸畑共立病院にお集まりいただきありがとうございます。がん診療に関しては、がん治療の均てん化ということが言われています。患者さんにとって重要なことは地域において治療を行っていただける事だと考えます。医療の質の向上、がん治療の均てん化を目指した協議会の取り組みに期待しております。本日は活発な意見が交わされることを期待しております。どうぞよろしくお祈ひします。</p> <p>3) 各専門部会の現状報告 ①地域連携・情報専門部会 地域連携・情報専門部会の報告をさせていただきます。 （別紙資料にて説明）</p> <p>1. 地域連携パスの進捗報告</p> <p>1) 胃がん・大腸がんパスの進捗状況 胃がん・大腸がんの連携パスについては、2010/05/25に福岡県がん対策推進協議会です承を得て運用を開始したところです。進捗状況についてですが、胃がん・大腸がんフォローアップパスの拠点病院における運用状況をアンケート調査（H23年9月末時点）したところ、パス適応患者数は胃がん55人、大腸がん41人となっています。 アンケート調査の中で、「かかりつけ医」、「院内スタッフ」、「患者さん」からの問題点や指摘事項も合わせて伺いました。これらの内容については、すでに案内を行いましたが、来月当院で専門部会を開催しますので、その中で検討し話し合っていければと思ひます。</p> <p>2) 乳がん・肺がん・肝がんのパスの開始について 乳がん・肺がん・肝がんの連携パスについては、2011/08/08に福岡県がん対策推進協議会です承を得たところです。これにより5大がんすべての連携パスが完成し、拠点病院の指定要件を満たしたこととなりました。</p> <p>3) 九州厚生局への施設基準の届け出について 施設基準の申請の手続きにつきましては、各施設の施設基準のご担当者の皆さまの協力のもと、県医師会の事務担当者と当院の医事担当者が何度も厚生局に足を運び、福岡県統一の連携先リストが完成し、やっとのことで現在のところまでたどり着いた状況です。まだ、これ以外に非常に面倒な課題もあり、今後かかりつけの医療機関が1施設でも変更や追加が生じた場合、改めて拠点病院との連携先リストを変更しなければならぬといった作業が発生します。かかりつけ医からの問合せについては、県医師会の事務担当者が窓口として連絡調整していただけることとなっており、各施設の医事担当者へ案内したところです。かかりつけ医の先生方への周知については、まだ不十分な点もあり、この点については、難</p>

	<p>しい部分もあるかもしれませんが、県医師会の方から周知活動を行っていただきながら、当院とで調整をすすめていきたいと考えております。</p> <p>2. 今後の方針</p> <p>1) 地域連携・情報専門部会の開催</p> <p>今後の方針については、11月14日（月）に九州がんセンターにおいて地域連携・情報専門部会を開催いたします。その中で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のパスの運用について、 ・動き出したパスの問題点について、 ・5大がん以外のパスについてはどうしていくのか、 ・5大がんのステージ1以外のパスをどうしていくのか、 ・拠点病院以外の病院、かかりつけ医、患者さまや家族に対して啓発の方法をどのようにしていくか、 <p>などについて話し合いが出来ればと考えております。関係者の皆様にお集まりいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上報告となります。何かご質問はありますか。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>がん治療連携計画策定料の算定のタイミングについて、退院の際に算定を行っているのか？病理等の結果が完全に判明してから算定を実施しているのか？ 各施設の算定状況を確認していただきたい。</p>
九州がんセンター (藤)	<p>(会場の出席者に確認したところ、パスを利用したが病理の検査結果が未判定状態で退院となるため算定をせずレセプトを提出した。その後、病理診断結果が判明後レセプトを返戻し再請求し直した施設があった。)</p> <p>請求のタイミングについては、乳がんのパスが開始されれば、ますますこのような状況になるかもしれない。11月開催予定の地域連携情報専門部会の際に各施設の実態についてももう少し詳しく確認したいと思っております。よろしければ担当者への確認をお願いいたします。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>地域連携パスに対する開業医への説明会についてですが、当院では実施しないこととしたところです。理由としては、当院の場合従来連携を行っていたところがほとんどは説明済みです。新たな連携先に対して説明会の開催を従来の方法で実施した場合、非常に効率が悪いいため、医師会などを中心に今後、各ブロック単位での実施など検討をしていただけないでしょうか。</p>
九州がんセンター (藤)	<p>現在、県医師会との調整の中でブロック単位での説明会や、医師会主催の各がん検診の講習会の際に周知していただくことも検討していただいております。それでも十分であるとは考えておりません。時間がかかるかもしれませんが、最後には連携していない病院に対して各施設が個別で説明していただく時期がくるのではと考えています。</p>
福岡県医師会 (山岡)	<p>啓発活動の件で補足させていただきますが、県医師会で研修等を行った際、映像により説明会を各医師会で行わせていただければと思います。また、各がん検診の講習会の際の説明についても実施させていただきたいと考えております。</p>
九州がんセンター (院長)	<p>県医師会のご協力に感謝いたします。よろしくお願いいたします。</p>
九州がんセンター (西山)	<p>②がん登録専門部会</p> <p>がん登録専門部会の報告をさせていただきます。 (別紙資料にて説明)</p> <p>1. 第2回がん登録専門部会（平成23年9月8日、於：九州大学病院）の報告</p> <p>○予後調査について</p> <p>県内の各拠点病院が予後調査を市町村に対して実施した際の調査結果です。回答が有料であったり、同意書を必要とする市町村がまだ多くあります。また、同</p>

一市町村でも、施設ごとに対応が異なるところもありました。部会としては、今後も引き続き県に協力を求めながら、スムーズな対応ができるように努力していきたいと思えます。

○国立がん研究センターによる予後調査の実施について

2007年のがん登録データに対して、国立がん研究センターが代理で予後調査を実施していただけることとなりました。ただし、3つの条件（①2007年データを国立がん研究センターに提出しかつ施設の個人情報保護規定上、国立がん研究センターに依頼する形での予後調査を行う問題がないこと、②予後調査を行った事が無いこと、③2007年登録症例が1000件を超えていること）が整っていなければなりません。福岡県内では4施設（済生会福岡総合病院、飯塚病院、産業医科大学病院、聖マリア病院）が対象候補として考えられ、推薦施設の決定については、国立がん研究センターから福岡県に対しての正式な施設選定依頼が届き次第、県と部会長が協議をして選定していく予定です。

○福岡県からの連絡事項

1) 福岡県地域がん登録事業の開始

- ・9月いっばいに、すべての2009年度分の地域がん登録データを登録室が受理したとの報告がありました。
- ・来年度以降については、各拠点病院が国立がん研究センターに院内がん登録データを提出した後（毎年12月中に提出予定）に、地域がん登録データを福岡県へも送付することになりました。
- ・県指定の3病院については、国立がん研究センターにデータ提出は必要ないが、地域がん登録を実施していただくこととなりました。
- ・予後調査については、院内がん登録へフィードバックしていただくこととなりました。

2) 地域がん登録届出票の提出方法

- ・県の保健環境研究所の方から提出方法に関する事務作業の説明がありました。参加されていた事務方に周知しておりますのでご確認ください。

○その他

1) 院内がん登録に係るステージ定義の変更

- ・院内がん登録に係るステージ定義が変更となったことの説明を行いました。

2) 地域がん登録届出後の報告

- ・地域がん登録の届け出を行った場合には、DPC係数に影響があるため、「DPC導入の影響評価に係る調査」が必要となります。調査様式に関する説明を行いました。

3) その他

- ・がん登録データが国立がん研究センターから公表された事に伴い、多くの雑誌社が、データの記事を掲載しているところです。その中には、内容が疑わしい物も含まれております。その様な情報に市民の皆様が惑わされない為にも、協議会としてデータを集計し公表する事も必要ではないか、役立つデータの読み方、公表の方法を検討していくべきではないかとの貴重なご意見が、九大の水元先生よりありました。部会としても検討していきたいと考えております。

部会としての状況報告をまとめますと、院内がん登録につきましては、ここ数年間の皆様の努力のおかげでなんとか軌道に乗っております。予後調査につきましては、院内がん登録の予後調査、地域がん登録の予後調査、国立がんセンターが予後調査の肩代わりを行っていただけるような提案もあり、まだ流動的なところもあるため、それぞれの予後調査をしっかりと進めていこうかと考えております。

以上報告となります。何かご質問はありますか。

九州がんセンター（院長）

国立がん研究センター中央病院も、がん登録のランキングに対するコメントを発表されていますが、それを受けて当院のホームページにも、全く数字だけなので、数が多ければ良いものではなく、内容、質を問うものではないことについて同様に見解を示しております。今後、協議会としても見解を示せればと思えます。九大病院におかれましても同様の見解を示していただければと思えます。地域がん登録についても福岡県全体で開始されたので、来年のDPC係数は取れるようになりました。

③研修・教育専門部会

研修・教育専門部会の報告をさせていただきます。

(別紙資料にて説明)

1. 医師に対する緩和ケア研修会について

○単位型実施決定までの経緯と今後の予定

- ・単位型の研修会実施に向けてこれまで、1年半ほどの時間を掛けて議論を行ってきました。昨年の10月の協議会の時点では単位型の研修会の実施については非承認となっておりました。今年3月14日開催の専門部会におきまして、福岡県より県の役割について新たな提案があり、その提案を受けて協議を重ねた結果、今年11月～来年8月迄の統一のプログラムを作成し単位型で実施することが承認されることとなりました。9月9日に福岡県単位型研修会実施要領を制定いたしました。
- ・現在、プログラム・資料の統一が出来ておりませんので、12月を目途に緩和ケア研修プログラム検討委員会を開催し統一した資料の作成を行い、統一の資料を配布したいと思います。
- ・来年度以降（平成24年11月から）の次期緩和ケア研修会の計画につきまして、今年度中に専門部会を開催して決定したいと考えております。

○福岡県統一の研修会実施要領及び資料

(実施要領の概要を別紙にて説明)

1) 目的 (省略)

2) 実施主体

- ・福岡県
- ・福岡県内のがん診療連携拠点病院、福岡県指定がん診療拠点病院および福岡県知事が認める福岡県内の団体（以下「がん拠点病院等」という。）

3) 研修会主催者

- ・緩和ケア研修会は、がん拠点病院等が企画し主催する。

4) 研修対象者

- ・すべてのがん診療に携わる医師

5) 研修会開催期間

- ・11月1日から翌年8月末日

6) 研修内容

- ・別紙「福岡県単位型緩和ケア研修会標準プログラム」により説明
- ・注意点として、各研修課程に含まれる研修項目及びその内容の省略は認めることができない。
- ・A課程内、B課程内での項目の順番は変更可能であるが、課程を超えての項目の入れ替えはできない。

7) 単位型研修

- ・緩和ケア研修会は、標準プログラムに準拠した単位型研修会とし、A課程とB課程の2つの課程で実施する。
- ・研修対象者は、福岡県内で実施される各研修会において、各課程を受講することにより、それぞれの研修を修了することができる。
- ・研修の修了にあたっては、同一研修会主催者において実施される研修会のA課程およびB課程ごとの一括受講とする。（原則推奨）
- ・しかし、やむを得ない場合は課程ごとに分割受講も認めるものとする。その際は、同一開催期間でA課程終了後、別の施設でB課程を受講するものとする。ただし、課程の各研修項目の欠講は認めないものとする。

8) 修了証の発行

- ・福岡県から発行

9) 開催にかかる手続き

- ・別紙「福岡県単位型緩和ケア研修会開催の手引き」により説明
- ・研修会開催準備 ～ 参加者の募集から研修会開催 ～ 研修会開催後 について全体のながれの概略を説明

10) その他

- ・実施要領は、平成23年9月20日から施行する。

11) リリースノート

- ・リリースノートについては、現在、2011年9月版が作成されております。緩和ケア学会でプログラム内容について随時更新作業がすすめられており、11月版に更新されると思います。しかしながら、単位型で県内統一の研修会を開催するにあたり、同一の内容で統一するためには、同一版のリリースノートで対応する必要があります。このため2011年11月1日から翌年8月末日までに開催される

	<p>研修については、皆様のご意見等がなければ、現在の2011年9月版のリリースノートのプログラムによる研修を行うことで統一させていただきたいと思ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設から意見等はなかったため、今開催期間（2011年11月1日から翌年8月末日までに開催される研修期間）は2011年9月版のリリースノートによるプログラムにて開催することで決定 <p>○平成23年度緩和ケア研修会等の開催予定 （別紙、「医師に対する緩和ケア研修会 日程表」により2011年11月1日から翌年8月末日までの各施設の開催日を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日について各ブロックの日程調整をかなり実施したところですが、施設の都合等もあり、九州医療センターと福岡東医療センターの開催日程が重複しており、やむなく同日開催となっております。 ・拠点病院の現況報告書の提出期限が、9月1日現在であるため、開催期間が7～8月に集中する傾向にある。できる限り期間内で分散するように調整したかったが、各施設の予定等があり調整が難しかった。来季（2012年11月～）の開催にあたっては、もう少し分散した日程調整が図れるように協力を求めています。 <p>2. その他</p> <p>○福岡県内の緩和ケア病棟における待機患者数等の最新情報 （別紙、「福岡県内の緩和ケア病棟における待機患者数等の最新情報」により説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当院で福岡県内の緩和ケア病棟の待機患者数をまとめておまして、関係施設との調整がつき、その情報を皆様方に提供する体制が整いましたのでご報告いたします。 ・現在、定期的に情報収集できている情報は、県内20の緩和ケア病棟の情報です。一部に斜線等がございますが、面談や入院までの日数や、待機患者数などの情報が毎週当院に集まっており、毎週、県内の拠点病院へ配信することとなります。 ・この情報の読み方についての注意事項として、緩和ケア病棟の先生方の意向を反映して記載しており、先生方からのメッセージも毎週掲載しております。 <p>以上報告となります。何かご質問はありますか。</p>
九州がんセンター（院長）	実施要領等につきまして、ご意見等はありませんか。
参加者	意見なし
九州がんセンター（院長）	緩和ケア研修会が単位型で実施されることの公表については、どのように実施される予定ですか。
福岡県医師会（山岡）	単位型での開催を承認いただき有難うございます。県の医師会のホームページに掲載し、各都市医師会へ通知を出させていただきます。
九州がんセンター（院長） 福岡県医師会（山岡）	協議会事務局から県医師会あてに依頼文書を提出する必要があるでしょうか。 不要です。県医師会長名で提出させていただきます。
九州大学病院（水元）	<p>③－2. その他連絡事項</p> <p>1. 拠点病院への新規参加施設の対応 緩和ケア研修会が単位型（県内統一版プログラム）で開催されることになりましたが、今後、新たに拠点病院を目指す病院が出てきた場合、その病院も緩和ケア研修会を開催する必要があります。新規で拠点病院への参加を申し出た場合についても、協議会の施設同様に同一の緩和ケア研修会プログラムで実施していただかないと、県内統一という趣旨から外れて、研修会の質の低下を招いてしまいます。新規にがん診療を目指す病院が増えなければ、福岡県のがん診療そのものの質の低下を招いてしまいます。そのため、新規の参加を検討しておられる病院への働きかけや情報提供などを、どのように実施していくかを明確にしていく必要があります。 福岡県の方へお願いなのですが、いつまでに緩和ケア研修会を実施すれば、拠点病院への参加申し込みが可能となるのかなど、県としての一定の考えや情報を示す必要があると思います。この場のみなさまのご意見をお聞きしたいと思います。</p>

九州がんセンター（院長）	<p>拠点病院の指定要件のなかに、緩和ケア研修会を開催していることとなっている。現在の緩和ケア研修会実施要領のなかに、福岡県内のがん診療連携拠点病院、福岡県指定がん診療拠点病院等となっている。今後、拠点病院へ新規参加する病院が緩和ケア研修会を開催したい場合の対応や、新規で拠点病院への参加を申し出る施設に対しての情報提供など、県の方で計画されていることなどございますか。</p>
九州大学病院（水元）	<p>先ほど、緩和ケア研修会についてのみお話したが、地域連携パスも同様であり、どのように周知していくのかなど考えないといけない時期にきているのではないかと思います。</p>
福岡県（中原）	<p>拠点病院の指定の件につきましては、この場ではっきりお答えできる状況ではありません。今回の指定については、平成26年4月からの新しい指定医療機関となってきますが、国の方でも拠点病院の今後のあり方などについては検討の段階で、指定要件などもはっきりと示されておらず、お答えをできる状態にはないところです。</p> <p>水元先生がお話されたように、拠点病院の指定に関して具体的ではありませんが、地域連携パスや緩和ケア研修会について何施設か県にお問い合わせがありました。緩和ケア研修会の開催についてですが、実施要領のなかに実施主体は、県知事が認める福岡県内の病院・団体等との表現で記載させていただいているところから、いろいろな所から話があっても対応させていただけるようにはなっている。ただ、問合せがあった場合は、研修は病院独自で実施していくやり方ではなく、単位型での実施であったり、県統一の研修プログラムの実施であったり、お願いしないといけないことがあることを伝え、拠点病院のこれまでの流れを説明した上で、指定要件などのお話をしていかなければならないと考えています。</p>
九州大学病院（水元）	<p>次回の拠点病院の更新（平成26年4月～）については、その前年の9月1日付で実績をもって申請となる。もし、拠点病院を目指している病院があるならば、緩和ケア研修会については11月から8月がプログラム実施の対象期間となる。平成25年の段階の申請となれば、平成24年11月～平成25年8月が実績の期間となる。現在のところ24年3月に24年11月からのプログラムについての話し合いを実施予定です。その時には、新たに参加される病院にも話し合いに参加して頂きたいと考えており、そのため、早めに決定してもらわないと間に合わない状況となる。遅くとも年内に県の方から公表していただき方向性などを示してもらわないといけない。</p>
九州がんセンター（院長）	<p>県の方で、早めに示してもらわないといけない。確認があったところだけに伝えるだけでは公平性に欠けることとなってしまいますので、公平になるように対応をお願いします。</p>
福岡県（中原）	<p>対象をどこまでの病院にするのかという問題はありますが、基本的には前回の国の拠点病院推薦の説明会に見えていた施設（数十施設）には早めにお知らせしなければいけないと考えております。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>開業医の先生以外の総合病院で地域連携パスを利用したい先生方への周知については、九州がんセンターのホームページに掲載しています。当院から周知することについては不公平となるかと思っておりますので、拠点病院の先生方に問合せがあった場合は九州がんセンターに問合せすれば、CDが配布してもらえらることを伝えていただければと思います。</p>
九州大学病院（水元）	<p>福岡県内のがん医療の均てん化を目指していくという趣旨からも、県の方に周知活動をしていただければと思います。</p>
九州がんセンター（藤）	<p>県にご協力をいただければと有難いと思います。</p>
福岡県（中原）	<p>④連絡事項（福岡県） 福岡県の連絡事項を報告させていただきます。 （別紙資料にて説明） 1. がん診療連携拠点病院および県指定がん診療拠点病院の平成24年度の現況報告書について ・現在、各拠点病院の方から現況報告書の提出を頂き、福岡県の方で確認作業中です。今回は様式等の変更があり、またタイトなスケジュールの中で提出いただきありがとうございました。提出いただきました内容について疑義等</p>

	<p>があった場合には問合せをさせていただく場合がございますので、協力をお願いいたします。</p> <p>2. 地域がん登録について</p> <p>○福岡県地域がん登録実施要綱について (別紙「資料1」にて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡県地域がん登録実施要綱につきまして、8月1日・2日に県の方で説明会を開催させていただきました。かなり多くの医療機関にご出席いただいたところ です。 <p>○地域がん登録の実務担当者研修会について (ご案内) (別紙「資料2」にて説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月に実施要綱等により事前に地域がん登録に関する概略の説明を行ったところ です。 その後、2ヶ月が経過しいくらか届出表も集まってきているなかで、同一項目で間違いが多かったりしている箇所もあるようです。 そこで、すでに案内は送付しておりますが、11月6日に九州大学病院の協力のもと、国立がん研究センターから地域がん登録を専門に行っている担当者を招いて、地域がん登録の実務者を対象とした研修会を開催いたします。いろいろなお質問も受けようと考えております。 福岡会場、北九州会場の2か所で実施予定ですので、参加をお願いいたします。 今回の研修会については、医師会の協力により、日本医師会生涯教育講座2単位を申請できることとなります。 <p>以上報告となります。ご質問等はありませんか。</p>
戸畑共立病院 (友枝)	<p>4) がん診療の連携について (スライドを用いて説明)</p> <p>戸畑共立病院におけるがん診療に関する取組や連携について特色や現況について説明</p>
九州がんセンター (藤)	<p>5) その他</p> <p>①平成23年度第3回福岡県がん診療連携協議会開催予定</p> <p>◎日時 平成24年2月13日(月) 14:00～</p> <p>場所 聖マリア病院</p>
九州がんセンター (藤)	<p>②その他</p> <p>○第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の伝達 (別紙 議会の配布資料のコピーを配布し説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月25日に都道府県のがん診療連携拠点病院の集まりが国立がん研究センターにおいて開催され、福岡県から九州大学病院と九州がんセンターが参加してまいりました。その時配布された資料を参考までに皆さまにお配りいたします。 がん対策推進基本計画の変更についてとか、がん登録に関してや、院内がん登録全国集計についてなどが書かれています。 議事次第の「9. 部会の設置 (案) について」という項目がありますが、まだ具体的に話がまとまっていないため、取消となりましたのでご注意ください。
九州がんセンター (院長)	<p>○福岡県がん診療連携協議会の開催回数について</p> <p>現在、年に3回開催しているところですが、当初からすれば懸案事項等もほとんど解決し動き出したところだと思います。そこで皆様もご提案ですが、開催回数を3回から2回の開催に変更したいと思いますがいかがでしょうか。県の計画書に開催回数の記載はありますか</p>
福岡県 (中原)	<p>計画には記載はありません、協議会の設置要綱等に記載がなければ問題ないと思います。</p>
九州がんセンター (院長)	<p>わかりました、協議会の設置要綱等を確認し明記されていなければ開催回数を変更したいと思います。次回の平成24年2月開催の聖マリア病院は当初とおり開催し、24年度からの実施で調整します。確認し決定しましたら皆様にお知らせします。</p>
	<p>6) 閉会の挨拶</p>

九州がんセンター（院長）

これもちまして平成23年度第2回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。

以上